

教育協力病院連絡協議会（報告）

日時：平成 29 年 12 月 15 日（金）

13:00～13:20

場所：信州大学医学部附属病院

外来棟 4 階大会議室

対象：教育協力病院

議題：感染症疑い時の臨床実習について

平成 29 年度「150 通りの選択肢からなる参加型臨床実習」受入と実績



定刻通り開会。

議事

資料に基づき進行し、森医学教育部門長より下記の補足説明があった。

- ▶ 感染症疑い時の臨床実習の実施有無については、提示したものが絶対ルールではない。大学の基本判断として参考にいただければ幸い。学生には各病院の規定に基づいたご指示をいただきたい。
- ▶ 宿舎をご提供いただいた際の使用について、ご意見をいただいている。きれいに使用するよう、学生に指導している。

質疑応答

- ▶ 昨年度、実習中にインフルエンザ予防接種の為、実習を欠席して大学に戻った学生がいた。移動時間や費用の負担を考慮すると、実習先で予防接種を行ってあげたいが、いかがか。
→ 予防接種費用は大学が負担していることもあり、学生が大学で接種を希望している。今年度は接種回数を増やして、近日中に全実習生が接種を終える予定である。このため、今後は予防接種のために実習を欠席する学生はいない。
- ▶ 実習先指導医が行った評価が妥当な評価なのかを知りたい。
→ 指導医の先生の評価を封緘し、実習学生の目に触れなくしたことにより、正当な評価がされるようになったと実感している。評価方法についての疑問や不安点があれば、各病院に面談にうかがった際にお話させていただきたい。

教育協力病院協議会終了後、引き続き、卒後臨床研修管理委員会が行われた。

以上